

平成27年度

【第1回：市政モニターアンケート】

調査結果報告書



船橋市

市長公室 市民の声を聞く課

1. 調査の目的

この調査は船橋市の「インターネットの活用」「広報活動」について、広く市民の方々の意識や要望等をお伺いし、市民のニーズを把握、分析することにより、今後の施策に反映することを目的としています。

2. 調査方法

- 調査区域 船橋市全域
- モニター数 288人
- 調査期間 平成27年6月5日（金）～ 6月19日（金）
- 調査対象者 市政モニター
- 実施方法 郵送配付／郵送回収

3. アンケートの回収結果

- ①モニター数 288人
- ②有効回収数 265人（有効回答率 92.0%）

4. 集計にあたって

◇調査結果の数値は、原則として回答率（%）で表わし、小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位まで表記しています。このため、単数回答の合計が100.0%を上下する場合があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問（複数回答）では、回答率は100.0%を上回る場合があります。

◇本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。

◇文中の〈n〉「有効回答数」、〈SA〉「単数回答」、〈MA〉「複数回答」を表しています。

5. 回答者のプロフィール

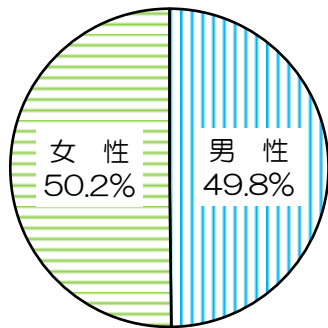
(1) 性別 n=265人

性別	回答数	構成比 (%)
男性	132人	49.8%
女性	133人	50.2%

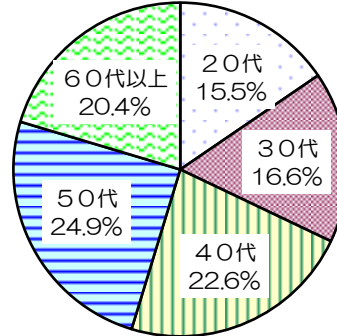
(2) 年代 n=265人

年代	回答数	構成比 (%)
20代	41人	15.5%
30代	44人	16.6%
40代	60人	22.6%
50代	66人	24.9%
60代以上	54人	20.4%

(1) 性別



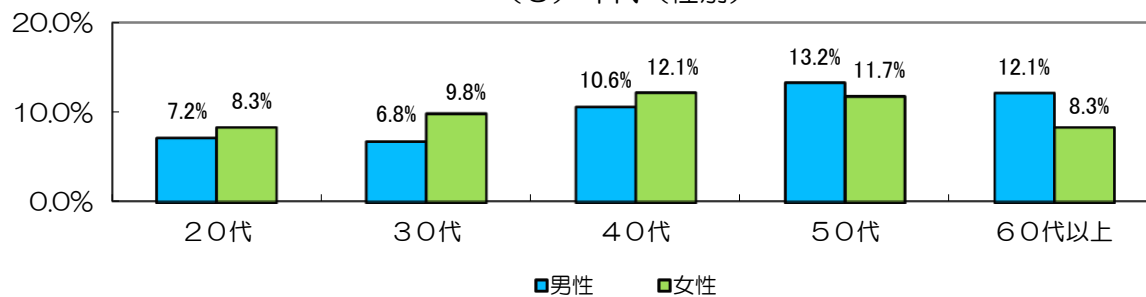
(2) 年代



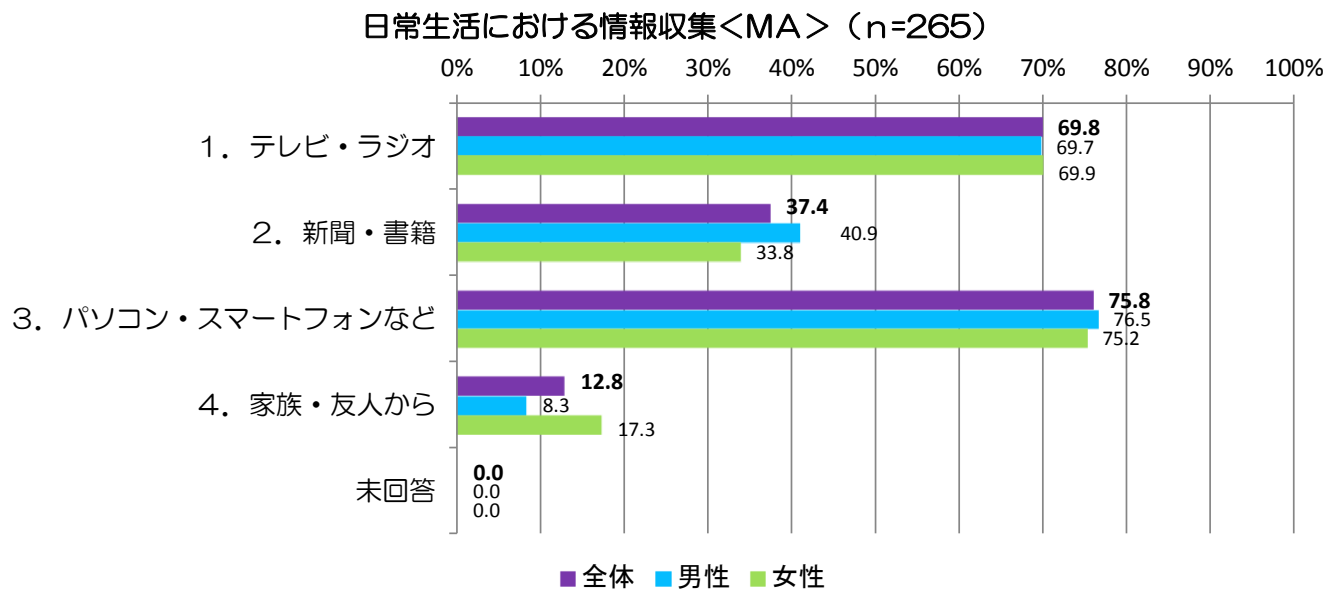
(3) 年代（性別） n=265人

	回答数		構成比 (%)	
	男性 (人)	女性 (人)	男性	女性
20代	19人	22人	7.2%	8.3%
30代	18人	26人	6.8%	9.8%
40代	28人	32人	10.6%	12.1%
50代	35人	31人	13.2%	11.7%
60代以上	32人	22人	12.1%	8.3%

(3) 年代（性別）

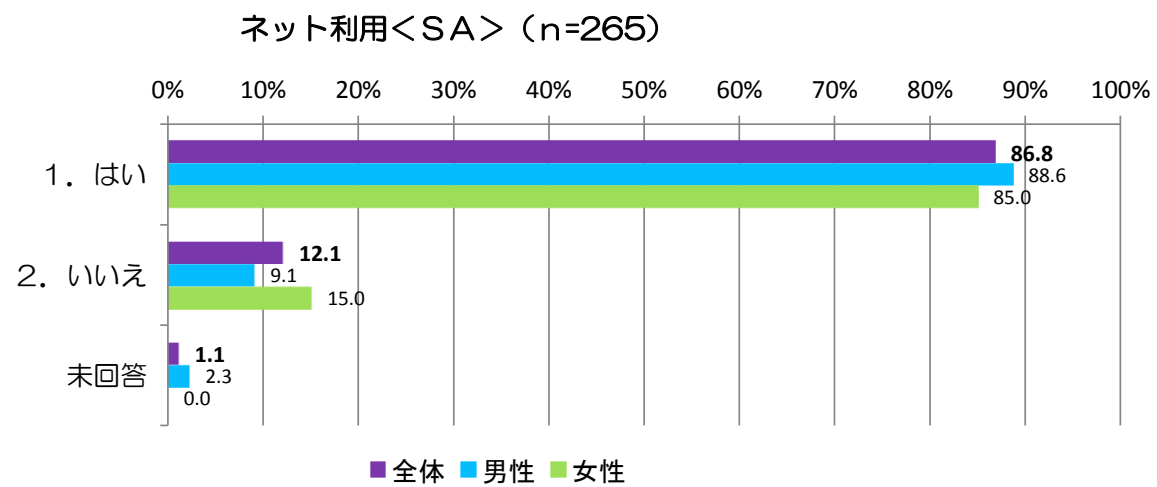


問1. あなたは、普段、日常生活において情報収集をするとき、必要な情報は何かから入手していますか。次の中から利用頻度の高いものを2つまで選んでください。

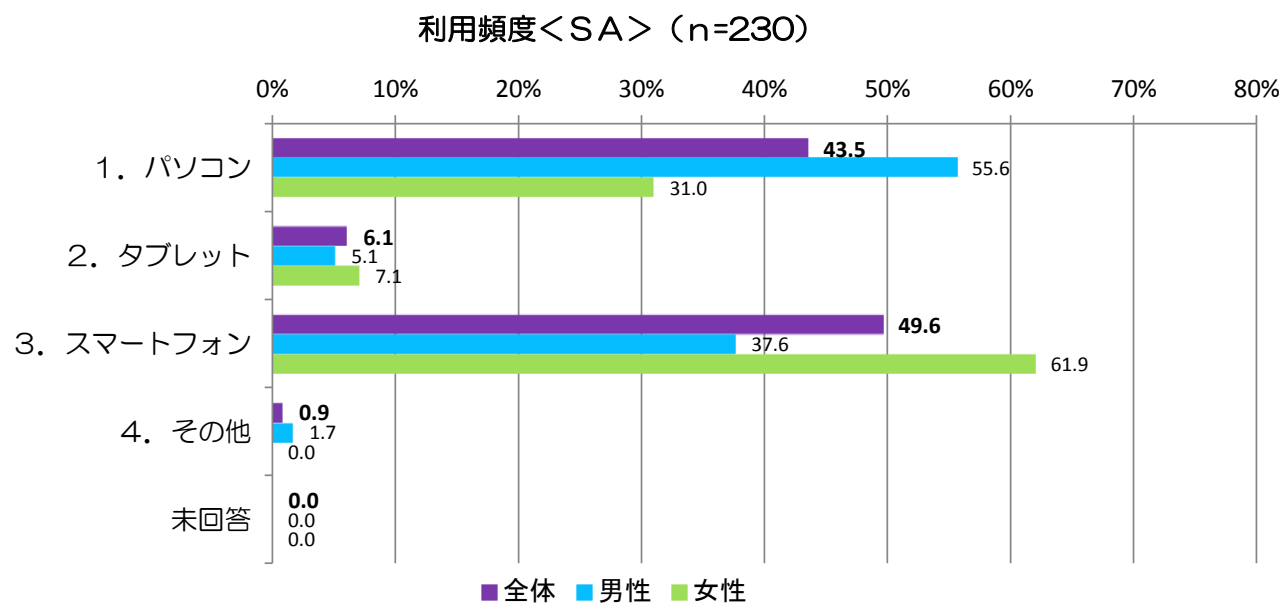


【インターネットについて】

問2. あなたは、日常生活において普段からインターネットを利用していますか。次の中から1つ選んでください。

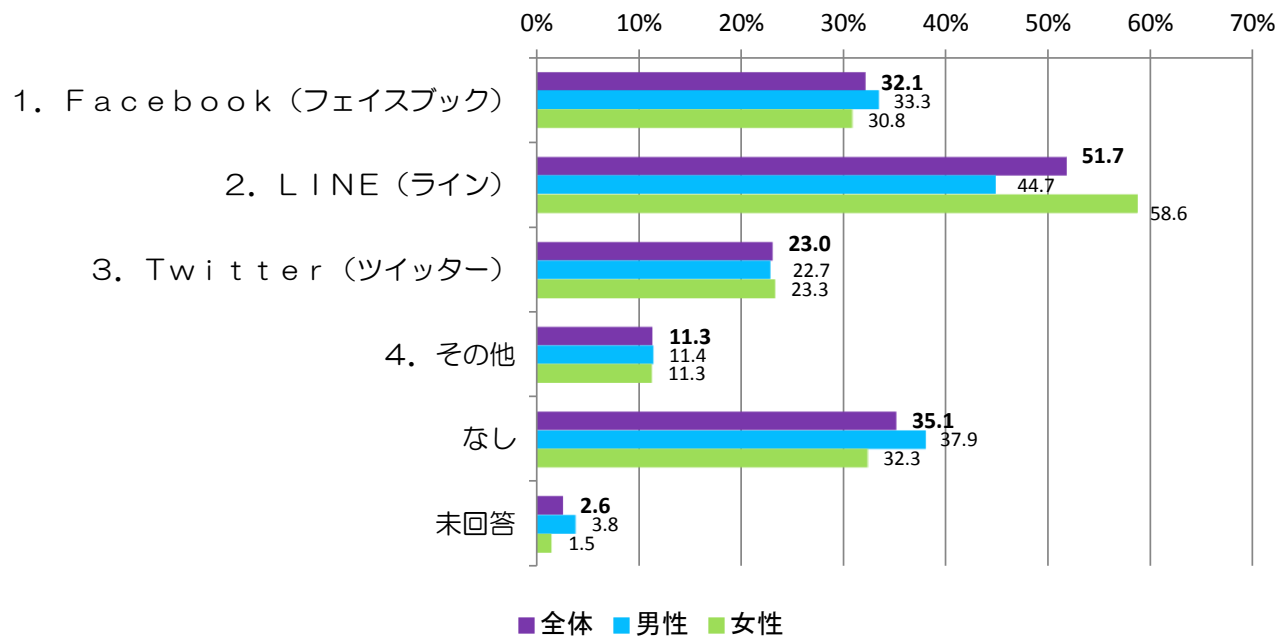


問2-1. 問2で「1. はい」を選んだ方にお聞きします。インターネットの利用頻度が高い機器はどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。



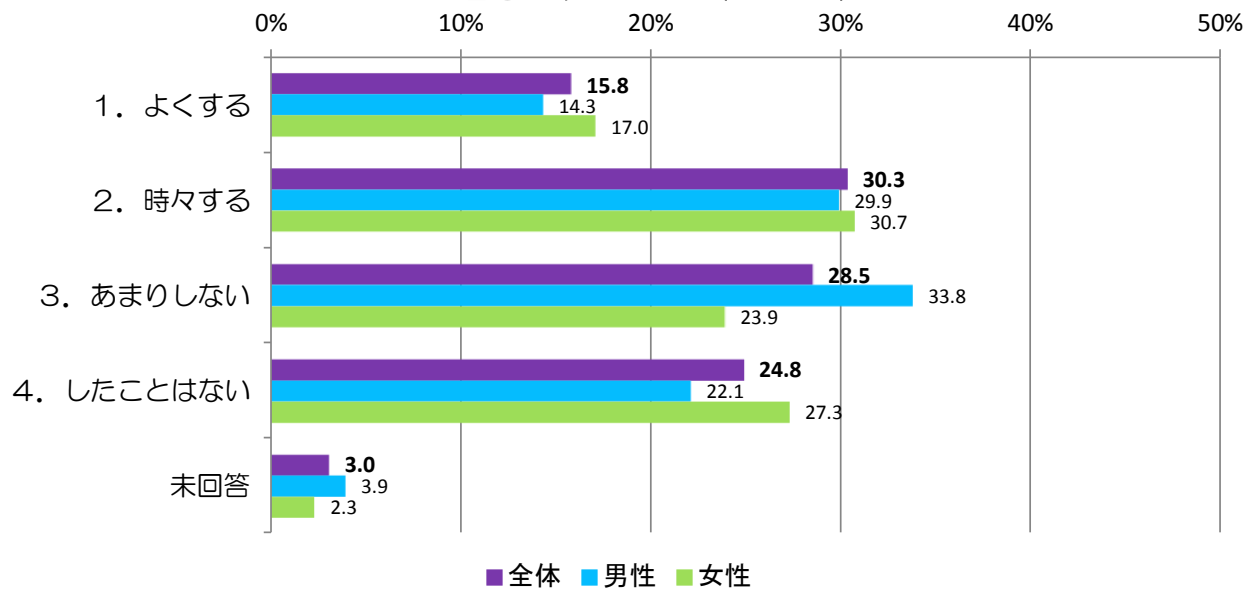
問3. あなたが、SNS（コミュニケーションを取るための豊富な機能を持ったサイトやアプリなど）の中で利用したことがあるものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（利用したことがない方は、回答欄に「なし」と記入してください。）

SNS利用<MA> (n=265)



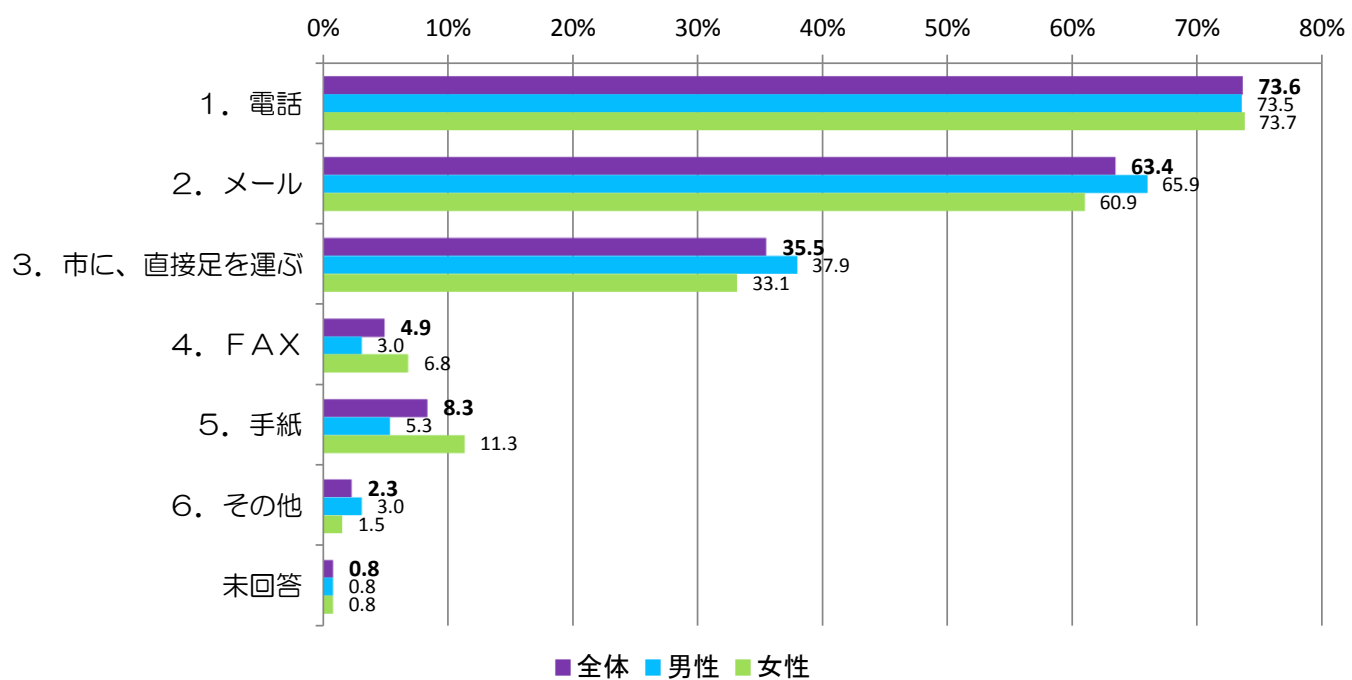
問3-1. 問3で「1. Facebook 2. LINE 3. Twitter 4. その他」のどれかを選んだ方にお聞きします。あなたは、SNSにご自身で書き込み（情報発信）をしますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

書き込み<SA> (n=165)



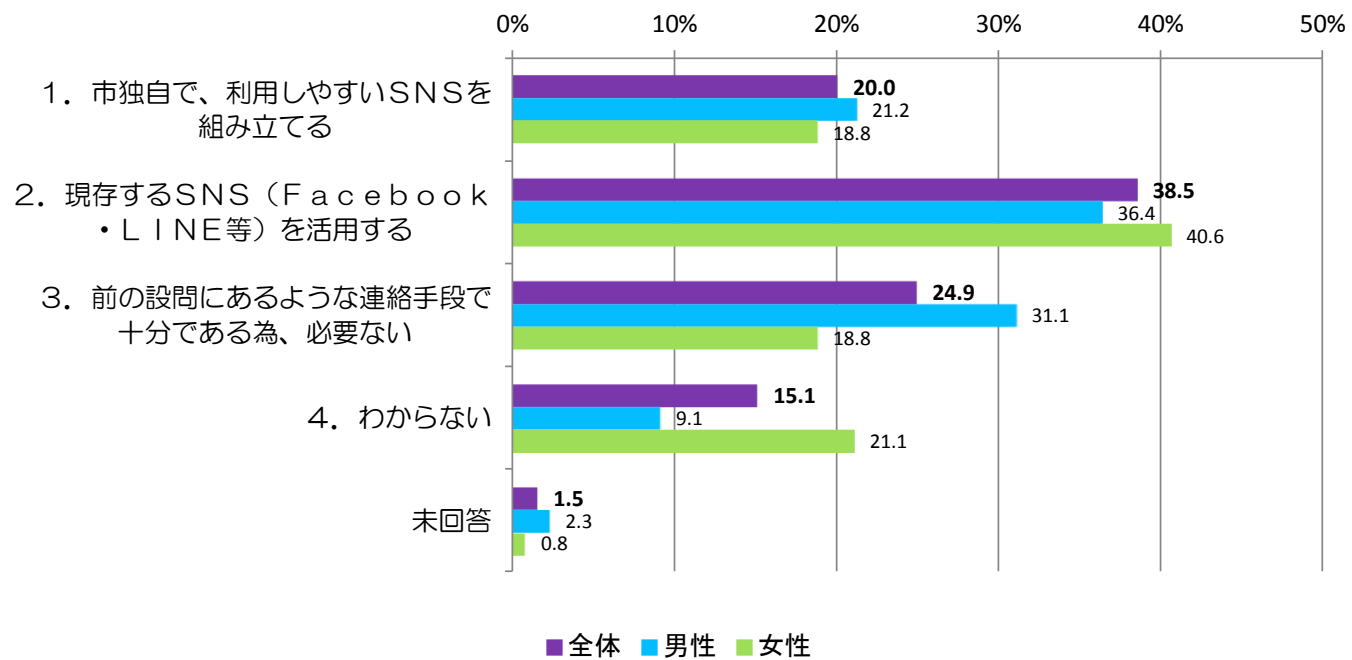
問4. あなたは、市に対して要望や課題がある場合、どのような手段を利用して市に連絡する又はしたいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

市への連絡手段<MA> (n=265)



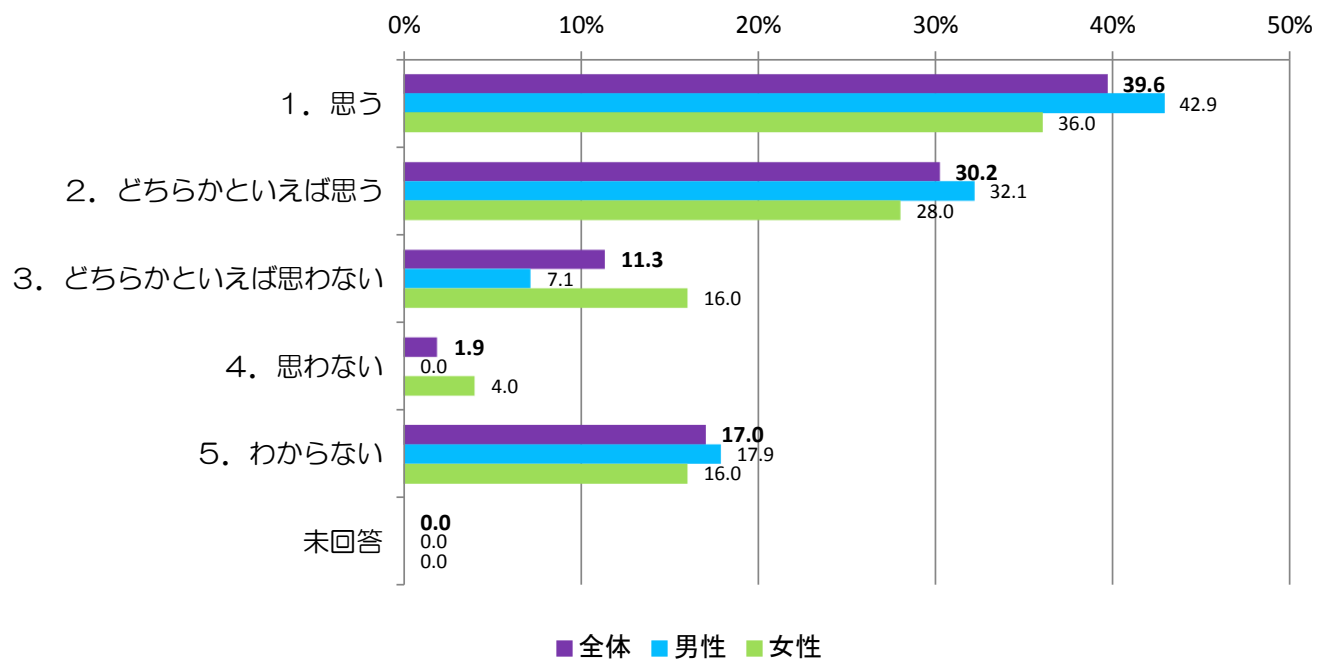
問5. 現在、市に対して要望や課題を投稿する為の「インターネット等を利用したSNS」について研究しているところです。あなたは、その仕組みをどのような方法にて導入するべきと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

SNSの仕組み<SA> (n=265)



問5-1. 問5で「1. 市独自で、利用しやすいSNSを組み立てる」を選んだ方にお聞きします。あなたは、市が問5のようなSNSサービスを組み立てた際に、その仕組みとしてアプリのダウンロードやユーザー登録等の手続きがあったとしても利用したいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

ユーザー登録<SA> (n=53)



問6. 現在、市ではインターネットを活用した取り組みの実現に向けて、具体的な内容やサービスについて模索しているところですが、あなた自身が、市において活用すると効果があると思われるアプリケーションやWebサイトを用いた取り組みとして、どのようなものが良いと思いますか。思いつく限り、どのようなことでも構いませんので、あなたのお考えをご自由に回答欄に記入してください。

インターネットを活用した取り組みについて、自由記載で意見を伺ったところ、152名の方から回答を得た。その中で、「申請や手続き等のWeb化」、「市内のお店・企業の紹介等の掲載」や「防災について」の意見が多く寄せられた。加えて「セキュリティ面に不安がある」「高齢者への配慮が必要だ」等の意見も寄せられた。次に主な意見を原文のまま引用した。

○私はインターネットなどは使用していません。どんな市として取り組んでいるか分かりません。どんな事に取り組んでいるか広報などでもよいので載せて下さい。(男性 60代)

○Facebookやツイッターの方が拡散性もあり、船橋市以外の方にも船橋市を知ってもらえると思います。災害時はネット情報よりもツイッターの方が情報が早いので、そのような面をうまく利用していけばいいと思います。(女性 30代)

○パソコンを使用していない高齢者の方が多いと思います。そのような方のためのツールを考えていただきたい。(男性 60代)

○市で行うイベント等の様子や来場者の感想をリアルタイムでコメントして宣伝(PR)に使用する。(女性 30代)

○ネットで各証明(住民票等)が取れるといいのですが個人情報の流出が心配ですが。(女性 60代)

○ゴミ分別アプリはどうか?
収集日、ゴミの分別(ゴミの品目を50音順)など(男性 50代)

○現在のWebサイトはかなり充実しているように見受けられます。ただし検索エンジンでは必要な情報にアクセスするのが難しくNavigation的な案内を用意されたのが良いかと(SNSで対応できるかも知れません)(男性 60代)

○Facebookは良いと思いますが、LINEやTwitterは個人向け(情報を発信する側が)がまだまだ主流だと感じます。また、LINEは個人情報保護の観点から、セキュリティ上良くないので反対です。(女性 30代)

○確かにインターネットは便利です。いつでもどこでもスイッチひとつで開き、調べられたり申し込みをしたりできます。ただし、すべてネットでということはどうでしょう?若い方たちの意見の方がたくさんアイデアがあるのでは。今の私ではあるものを便利に使って困っていないので。(女性 60代)

○これからはインターネットを活用していくと何かと便利になると思いますが、段々と高齢者・独居者が増えてインターネットを使えない人が増えてくると思います。私は主人がインターネットをしますので色々な情報は知らせてもらっています。(女性 70代)

○何か問合せ、依頼があっても、勤めがあると平日昼間はなかなか時間が取れない。その場で解決させねばならないという程急ぐこともあまりあるものではないので、SNS等の時流に乗るよりも、Webフォームやメール等のシンプルな手段を確実にサポートしていく方がむしろ実用的なのではないかと思う。(男性 40代)

○既存のSNSを利用する場合、全ての方がFacebookやTwitterを使っているわけではないので、複数のSNSに市が参加するといろいろな人が利用しやすいと思う。市独自のSNSは、よほど市政等に関心がないと使用しないため、利用者が限られ偏りができてしまうのではないかと。また、システム費用ももったいない。(女性 30代)

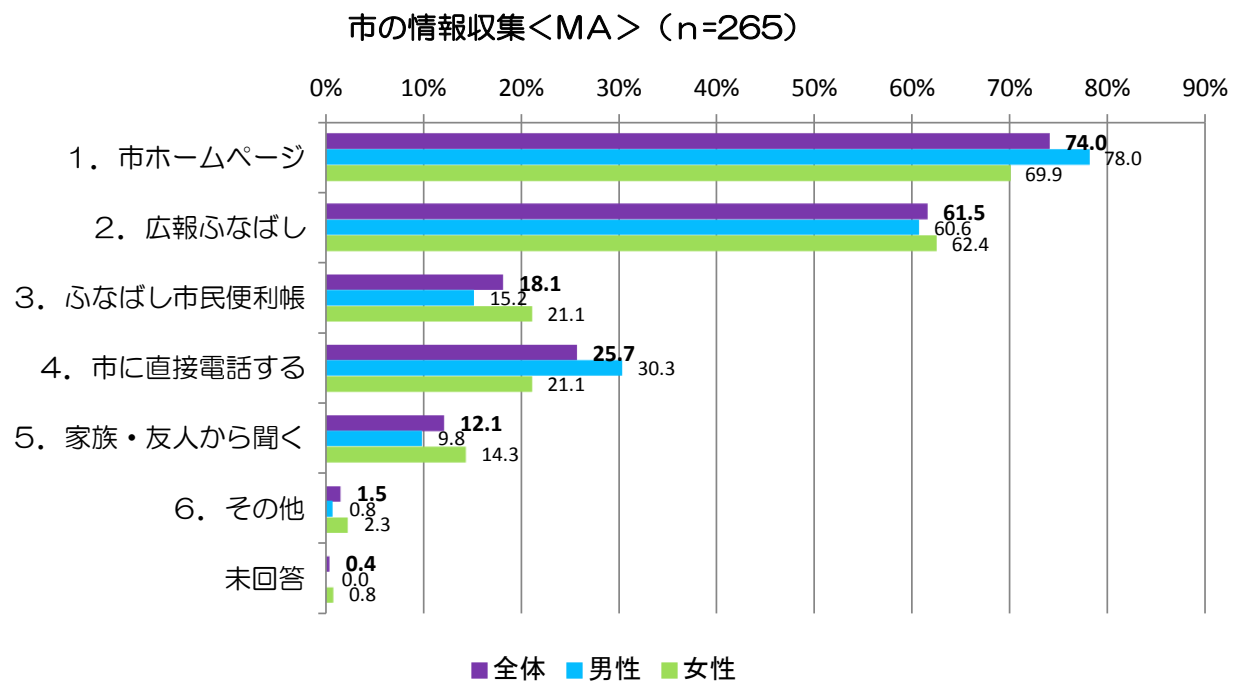
○新たに作る必要はないと思うし、フェイスブックやLINEは個人を特定できてしまうのでどうかと思う。今、年金機構で個人情報流出問題が騒がれていることもあり、既存の市のHPからの書き込みの機能を使いやすくわかりやすくすればいいのではないかと思う。消極的な意見で申し訳ないです。でも、フェイスブック・LINE・ツイッターは個人を不特定多数が攻撃しやすいツールなので、一度騒ぎになったりしたら誰も意見したくなくなるといったので。(女性 40代)

○市内には色々な年代の方がいるので、全てにおいてインターネットを使用して…は難しいのではないかと。お年寄りには広報紙などから情報を得ているので今までの状態で良いのでは…。(女性 50代)

○現在位置からの避難場所検索(男性 50代)

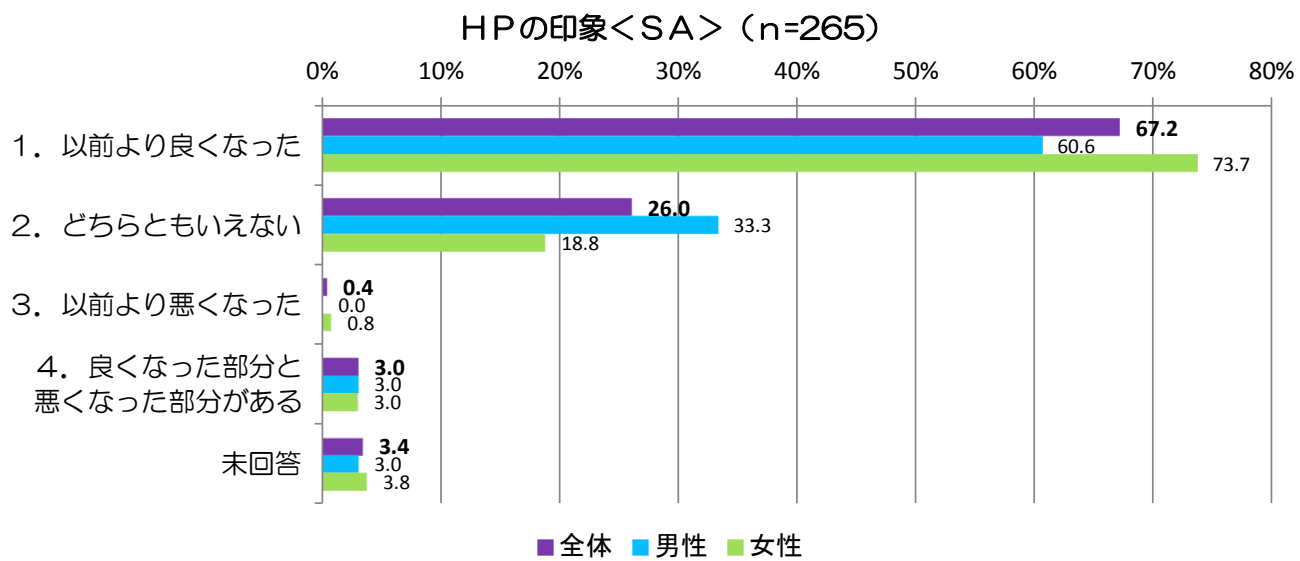
○SNSで市の公式サイトを立ち上げ、市のその月や週の催し物を紹介していく。店や企業と連携してweb特典を付けると閲覧者が増え、市に足を運ぶ人の増加につながり町の活性化に貢献しえるかもしれない。(男性 20代)

問7. あなたは、特に市の行政情報を得ようとするとき、どのように入手していますか。次の中から頻度の高いものを2つ選んでください。



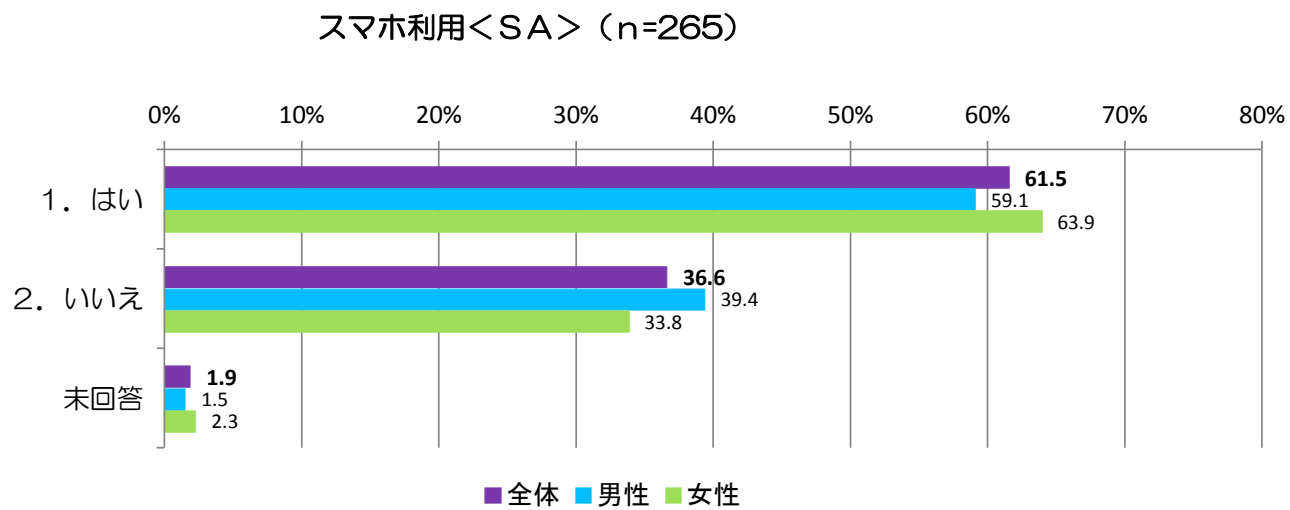
【市ホームページについて】

問8. 市ホームページは、市民の皆様からいただいたご意見やアンケートをもとに、平成26年度にトップページの一部を改修しました。【別紙1】をご覧いただいたうえで、現在のページと一部改修前のページを見比べて、全体の印象はいかがですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。また、具体的に良くなった、悪くなった点があればご記入ください。



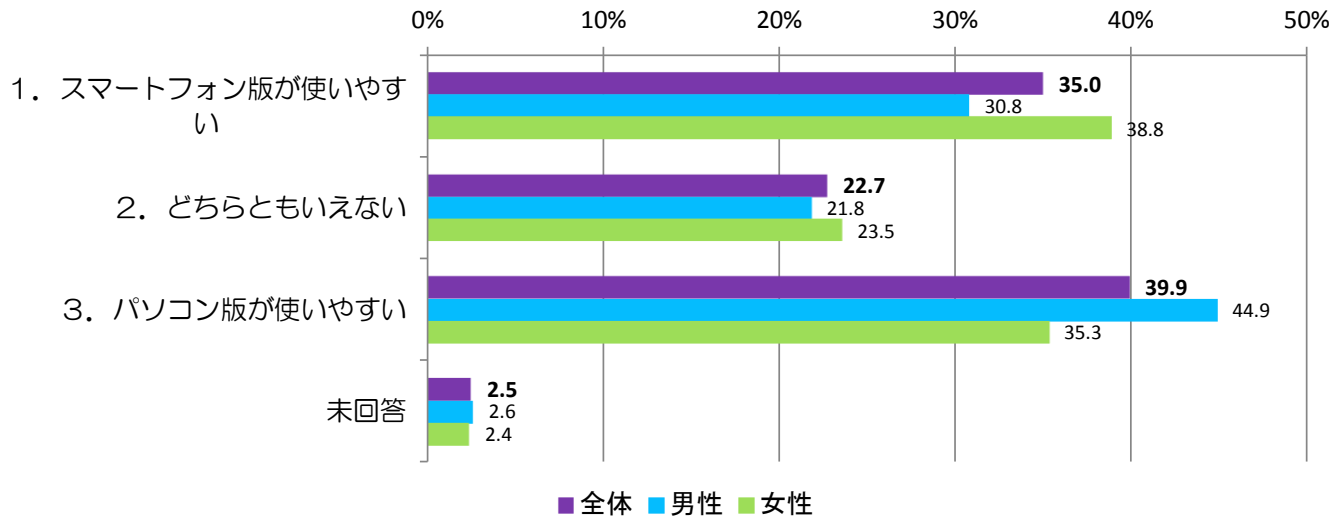
【スマートフォン用の市ホームページについて】

問9. あなたは、普段からスマートフォンを利用していますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。



問9-1. 問9で「1. はい」と回答された方にお聞きします。【別紙2】の方法で、スマートフォンで市ホームページを閲覧し、スマートフォン版とパソコン版をそれぞれ見比べていただいたとき、どちらが使いやすいと考えますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

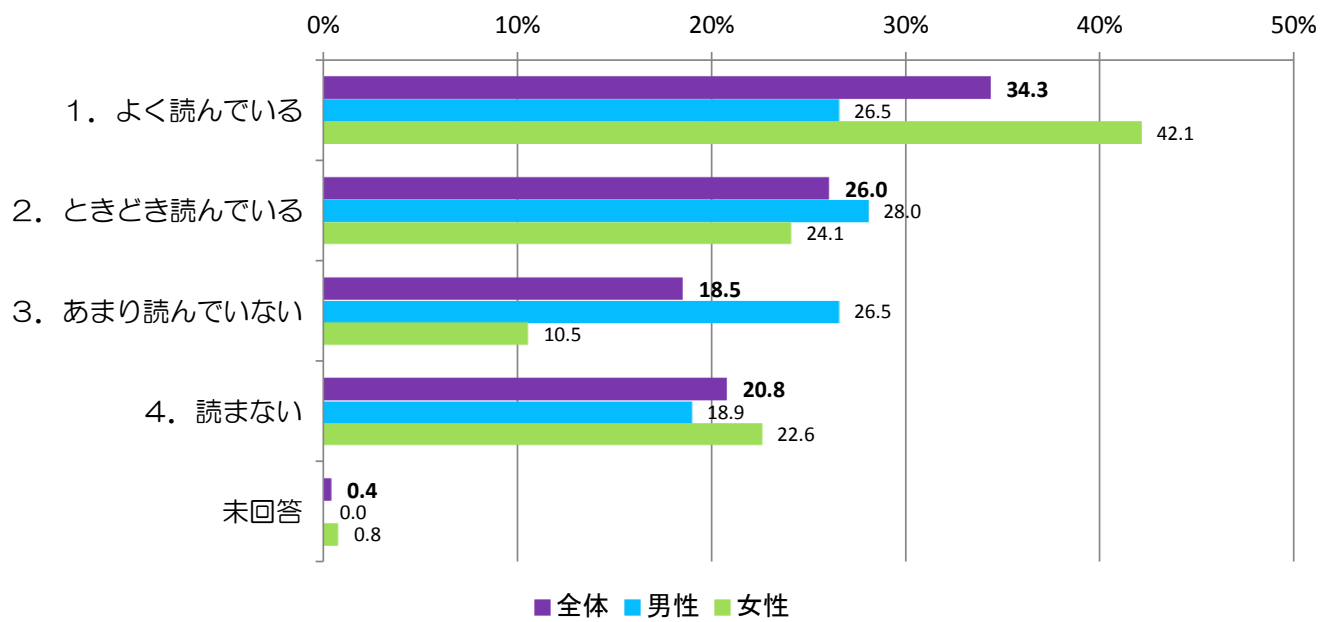
HP見やすさ<SA> (n=163)



【広報ふなばしについて】

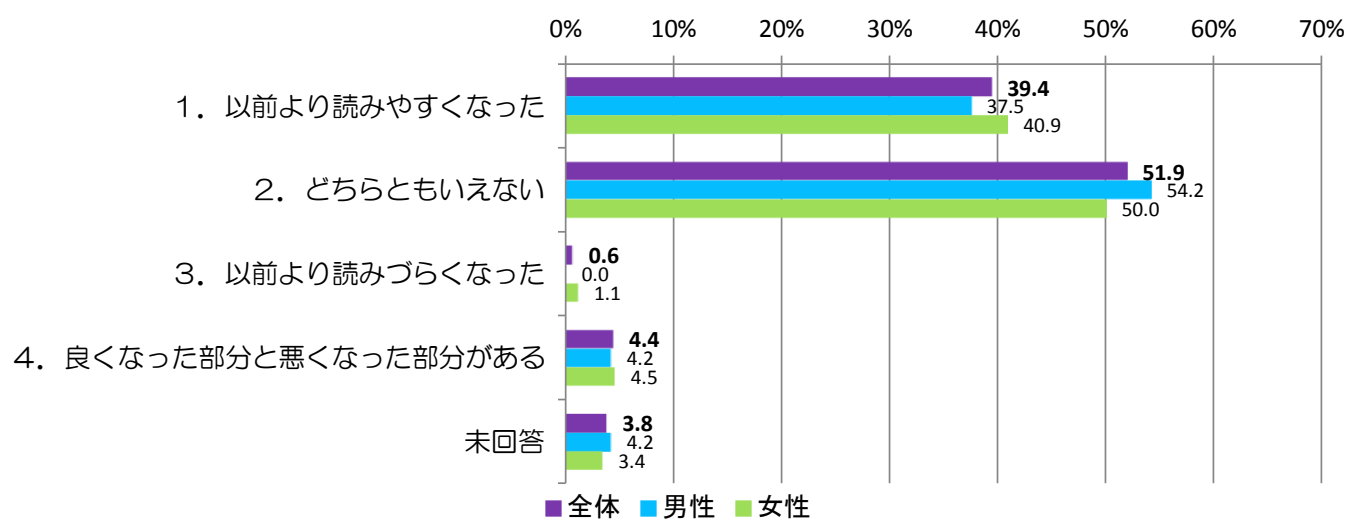
問10. あなたは、毎月1日と15日に発行している「広報ふなばし」を読んでいますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

広報ふなばし<SA> (n=265)



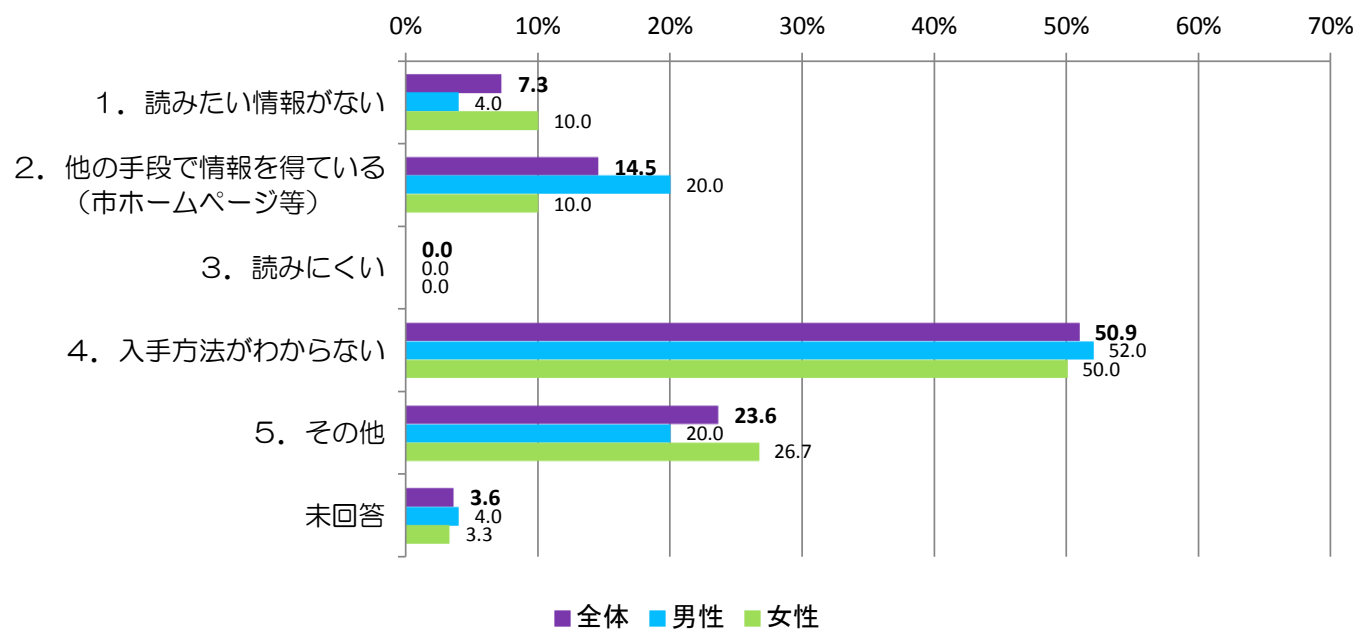
問10-1. 問10で「1. よく読んでいる 2. ときどき読んでいる」と回答された方にお聞きします。平成26年6月に全面リニューアルした「広報ふなばし」は、以前と比べてどのように変わったと感じますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

紙面の変化<SA> (n=91)



問10-2. 問10で「4. 読まない」と回答された方にお聞きします。「広報ふなばし」を読まない理由はなんですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

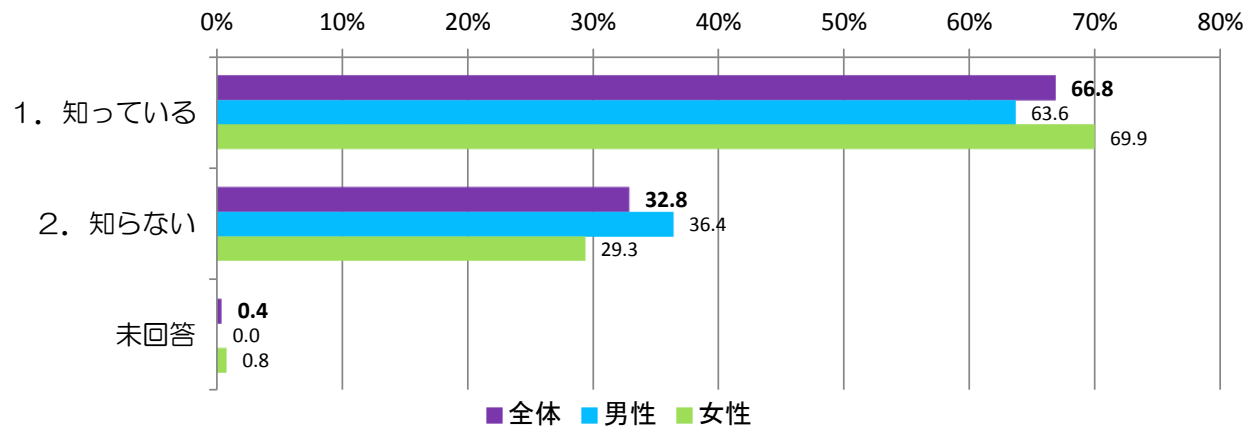
読まない理由<SA> (n=55)



【ふなばし市民便利帳について】

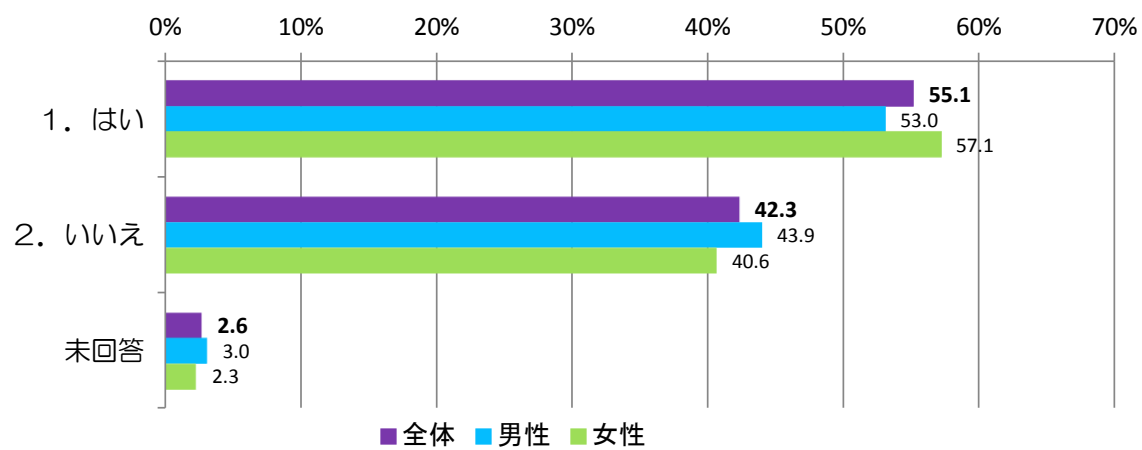
問11. 市役所業務の案内や、各種手続きの情報をまとめた「平成26～28年度版 ふなばし市民便利帳」は平成26年度に全家庭に配布したことをご存知ですか。次の中から1つ選んでください。

市民便利帳<SA> (n=265)



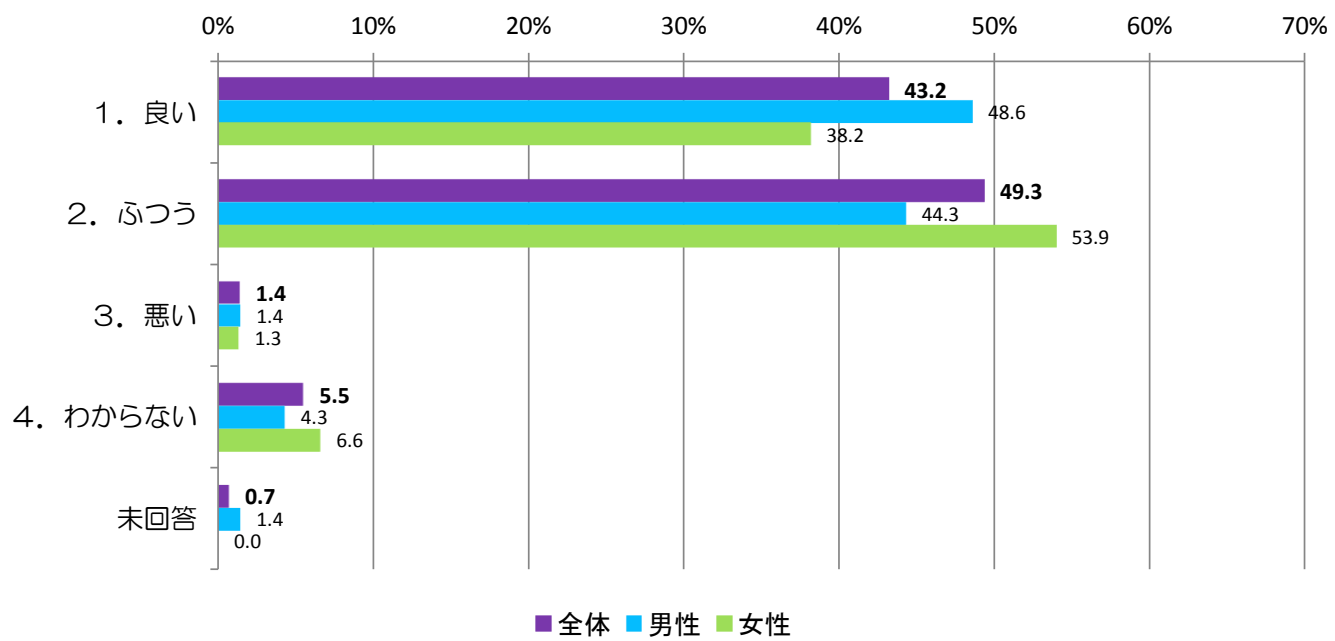
問12. 「平成26～28年度版 市民便利帳」を読んだことはありますか。次の中から1つ選んでください。

市民便利帳読んだこと<SA> (n=265)



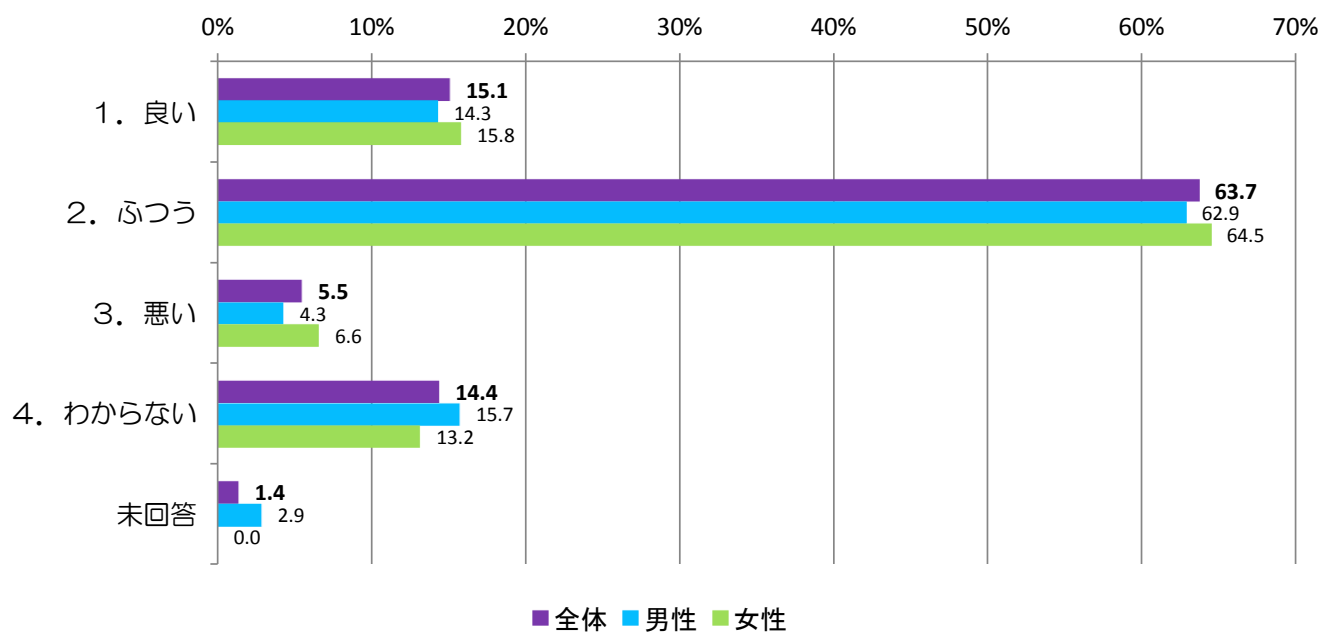
問12-1. 問12で「1. はい」と回答された方にお聞きします。
 「平成26～28年度版 市民便利帳」の満足度について、次の中からあてはまるものをそれぞれ1つだけ選んでください。
 1. 情報量

「平成26～28年度版」の満足度【情報量】<SA> (n=146)



問12-1. 問12で「1. はい」と回答された方にお聞きします。
 「平成26～28年度版 市民便利帳」の満足度について、次の中からあてはまるものをそれぞれ1つだけ選んでください。
 2. 広告量

「平成26～28年度版」の満足度【広告量】<SA> (n=146)



問12-1. 問12で「1. はい」と回答された方にお聞きします。
 「平成26～28年度版 市民便利帳」の満足度について、次の中からあてはまるものをそれぞれ1つだけ選んでください。
 3. 文字の大きさ

「平成26～28年度版」の満足度【文字の大きさ】<SA> (n=146)

